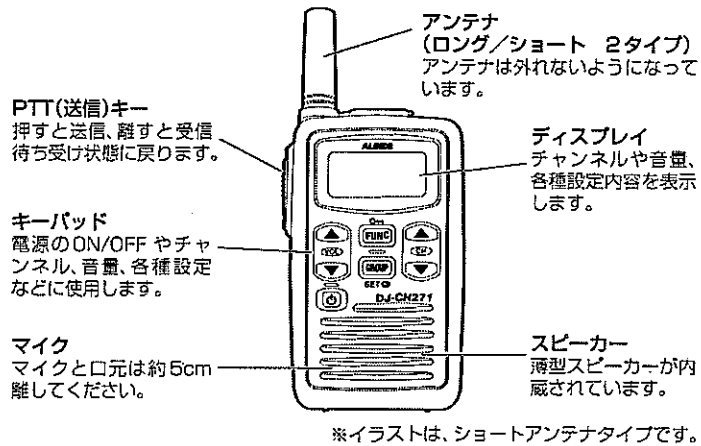
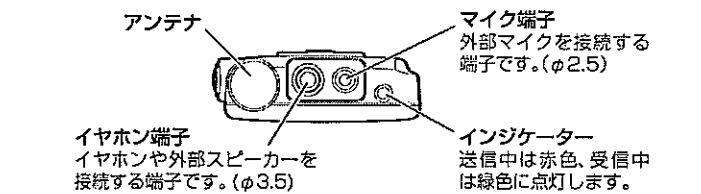


各部の名前とはたらき

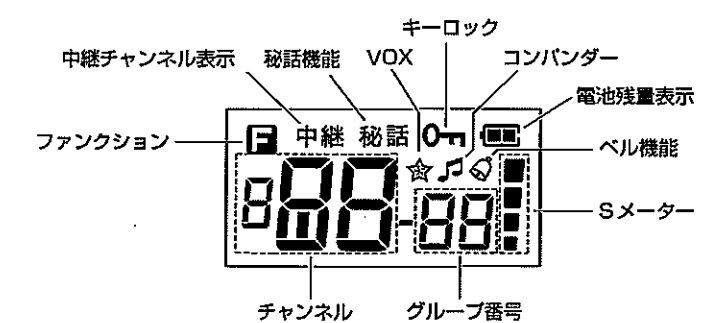
前面部



上面部



ディスプレイ



チャンネル表示について

●交互通話時 レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示は レジャータイプ	L01 L09	b表示は ビジネスタイプ	b01 b11
-----------------	------------	-----------------	------------

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ(9チャンネル機)と通信できます。
b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ(11チャンネル機)と通信できます。

●中継通信時 レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

L表示は レジャータイプ	L10 L18	b表示は ビジネスタイプ	b12 b29
-----------------	------------	-----------------	------------

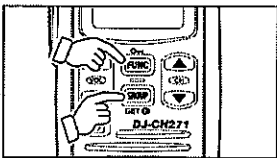
9チャンネル
18チャンネル

セットモード

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- [FUNC]キーを押しながら[GROUP]キーを押します。
→セットモードに入り、項目が表示されます。
- [GROUP]キーを押すごとに項目が切り替わります。
[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- CH[▲/▼]キーを押して設定値を変更します。
- [PTT]キーを押して設定を完了します。



※ セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/>「電子事業」

注意 [FUNC]キーを押しはじめた直後に[GROUP]キーを短く押してください。[FUNC]キーを長く押す、または[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に長く押すとキーロックする操作になりますのでご注意ください。

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

■電源を入れる

[○]キーを約2秒間押します。
電源を切るときも同じ操作をします。

■音量を調整する

VOL[▲/▼]キーを押す

ディスプレイに音量レベル[vol-15]が表示されます。
キーを押すと「ビッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。
音量調整は0～30の31段階で、初期状態は「15」に設定されています。

■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

通話したいトランシーバーすべてを同じチャンネルに合わせます。L(レジャー)、b(ビジネス)の表示に注意して合わせてください。

※ キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。
CH[▲/▼]キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
インジケータが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

※ 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。
(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

■送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
インジケータが赤色に点灯し、Sメーターも同時に点灯します。
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「ブブ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)

[PTT]キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社製の中継器が必要です。

■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

中継通話用チャンネルのL10～L18、b12～b29を選択します。
→「中継」が点灯します。

■送信する

[PTT]キーを押し続けます。
→直後に「ビッ」という音が鳴ります。
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

※ お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機もグループトーク機能を設定し、グループ番号も合わせてください。

注意 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。
子機-中継器間、子機-子機間は10m以上離してください。

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt	電池選択(リチウムイオン/アルカリ乾電池)	Li/AL	Li
CP	コンバンダー(バックノイズ低減)	OFF/ON	OFF
vo	VOX(音声検出自動送信)	OFF/LO/HI	OFF
SC	秘話	OFF/ON	OFF
bP	ビーブ音(キー操作音、各種アラーム音)	OFF/1～5	1
EP	エンドビー(送信終了音)	OFF/ON	OFF
bL	ベル(呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH	PTTホールド(送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt	PTTオンオフ(送信禁止)	OFF/ON	ON
At	中継器接続手続	OFF/1/2	2
Er	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Cb	コールバック	OFF/ON	OFF
Pa	送信出力 (Hi:10mW/Lo:1mW)	Lo/Hi	Hi
EmG	緊急通報機能 (「SET/E」長押しで通報)	OFF/ON	OFF

コールトーン機能

送信中にCH[▲/▼]キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。
[▲]と[▼]キーでは音色が異なります。

注意 ビープ音をOFFにしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

①[GROUP]キーを押す

グループ番号が点灯します。

②グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながらCH[▲/▼]キーを押して自分のグループのトランシーバーをすべて同じグループ番号にします。

③送信する

[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。
同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

※ グループトークはトーンスケルチと呼ばれることがあります。
グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話できません。

キーロック

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

●簡易キーロック(音量変更可能)

[FUNC]キーを約2秒押します。
「Loc1」が点滅した後、「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

●通常キーロック(音量変更不可)

[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に約2秒押します。
「Loc2」が点滅した後、「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

電池残量表示

電池の残量が少なくなるとバッテリーマークが「」表示になり、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると「」表示になります。「」表示になった場合は、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

※ 「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイの表示が消える」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。
工場出荷状態の「L01」になります。

その他の機能

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/>→「電子事業」

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

リモコンモード

本機をリモコンとして、中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。
中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

※ 誤って並列機能に切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すかリセットすることで正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。 表示が消える。	電池が消耗している。 電池の入れ方が間違っている。	新しい電池と交換してください。 バッテリーパックを充電してください。 電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。 グループ番号が違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。 3分の通信時間制限を超過している。 PTTオンオフ機能がOFFになっている。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 [PTT]キーを離し、2秒経過してから送信してください。 PTTオンオフ機能をONに設定してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。 バッテリーパックがきちんと装着されていない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 バッテリーパックを正しく入れ直してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗しているとまれに誤動作することがあります。バッテリーを充電もしくは新しい電池に交換してください。

生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。

補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-80	リチウムイオンバッテリーバック (3.7V980mAhスベア)
EDC-182	充電スタンド (スベア)
EDC-139	ACアダプター (スベア)
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EME-46A	ヘッドセット
EME-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア)
EME-26	カーブコードイヤホン (オープンエア)
EME-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)
EME-52A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-53A (※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-34A	イヤホンマイク (カナル型)
EME-21A	イヤホンマイク (グレー)
EME-21AB	イヤホンマイク (ブラック)
EME-49A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-39A	喉巻イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-57A	イヤホンマイク (カナル型耳かけ)
EME-30A	イヤホンマイク (ブーム型)
EME-51A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-31A	イヤホンマイク (マイク口)
ESC-55	ソフトケース
EDH-38	乾電池ケース (スベア)

(※1) スピーカーマイクは、PTTホールド機能、VOX機能が使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125～421.9125MHz(受信) 422.2000～422.3000MHz 440.2625～440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750～421.7875MHz(受信) 422.0500～422.1750MHz 440.0250～440.2375MHz(送信)
周波数制御チャンネル	421.8000MHz(受信) 440.2500MHz(送信)	
電波型式	F3E(FM)/F1D(FSK)	
送信出力	10mW/1mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音出力	100mW以上	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC 3.7V / 4.5V	
動作温度範囲	-10℃～+50℃(但し充電は0℃～+40℃)	
寸法	55(W)×93.8(H)×18.8(D)mm(突起物除く) アンテナ長さ ロング150mm/ショート36mm	
重量	約110g(バッテリーバック含む)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。